

令和 7 年度
松阪市
保健統計報告書

〔 令和 7 年 10 月 1 日時点人口
令和 6 年人口動態 〕

松阪市健康福祉部健康づくり課

〈目 次〉

I	調査の概要	1
II	松阪市の結果の概要	3
III	調査の結果	4
1	人口静態（令和7年10月1日現在）	4
(1)	総人口	4
(2)	年齢別人口	5
(3)	年齢3区分別人口	6
(4)	世帯数	7
2	人口動態（令和6年1月1日～12月31日）	8
	率の算出（令和6年10月1日現在）	
(1)	人口動態の概況	8
(2)	出生	9
①	出生数・出生率	9
②	出生率の推移	9
③	合計特殊出生率	10
④	母親の出産年齢	10
⑤	出生体重	11
(3)	死亡	12
①	死亡数・死亡率	12
②	死亡率の推移	12
③	死因別死亡数・年齢調整死亡率	13
④	年齢調整死亡率の比較	14
⑤	死因別死亡数の推移	15
⑥	死因別死亡	16
⑦	悪性新生物の部位別死亡	17
⑧	不慮の事故の内訳と比較	18
(4)	死産	19
(5)	周産期死亡	19
(6)	乳児死亡	20
(7)	婚姻と離婚	21
	【参考資料】地区別人口一覧	22

I 調査の概要

1 調査の目的

松阪市の人口静態・動態事象を把握し、保健施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の方法

- ① 人口静態統計は、令和 7 年 10 月 1 日現在の松阪市環境生活部戸籍住民課の住民基本台帳を用いて作成した。
- ② 人口動態統計は、市町の人口動態調査票による集計結果を三重県医療保健部のホームページで公表されたデータを用いた。

人口動態統計は、統計法による指定統計として「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届けられた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届出書から、「人口動態調査令」に基づき、市町村長が作成した各調査票をとりまとめたうえ分類・集計したものである。

人口動態統計は、調査票をもとに人口の動的事象を統計的に把握したものであるが、保健衛生、医療対策面はもとより、行政施策の基礎資料として広範囲に活用される基本的な統計である。

- (1) 令和 6 年年計は、令和 6 年 1 月 1 日から令和 7 年 1 月 14 日までに市町村に届けられたもののうち、令和 6 年中に事件が発生したもののみを取りまとめた。
- (2) 日本において発生した、日本人に関する事件を集計した。
- (3) 出生、死亡及び死産は、本市に住所を有するもの。
- (4) 婚姻は夫の住所が本市のもの。
- (5) 離婚は別居する前の住所が本市のもの。

ただし、離婚のうち調停、審判及び判決による離婚は、裁判確定の年月日をもって法的に成立するので、同確定日が令和 6 年中のものについてのみ収録した。

3 用語の解説

- 人 口 静 態：特定の時点でとらえた人口の大きさや構造をあらわしたもの
(毎年 10 月 1 日現在)
- 人 口 動 態：出生・死亡による人口変動（自然動態）と人口移動による変動（社会動態）
とによる人口数・人口構造の変化。時点ではなく、特定の期間を推定してい
て人口の大きさや構造をあらわしたもの。
- 3 区 分 別 人 口：年少人口（0～14 歳）、生産年齢人口（15～64 歳）、老年人口（65 歳以上）
- 高 齢 化 率：65 歳以上人口が総人口に占める割合
- 自 然 増 減 数：出生数から死亡数を減じたものをいう。
- 乳 児 死 亡：生後 1 年未満の死亡をいう。
- 新 生 児 死 亡：生後 4 週（28 日）未満の死亡をいう。
- 早期新生児死亡：生後 1 週（7 日）未満の死亡をいう。
- 死 産：妊娠満 12 週（妊娠第 4 月）以後の死児の出産をいい、死児とは、出産後
において心臓搏動、随意筋の運動及び呼吸のいずれも認めないものをいう。
- 周 産 期 死 亡：妊娠満 22 週（154 日）以後の死産に早期新生児死亡を加えたものをいう。
(比率の説明)

概要及び統計表に用いた比率¹⁾

- 出 生 率：年間出生数÷10 月 1 日現在人口×1,000
- 死 亡 率：年間死亡数÷10 月 1 日現在人口×1,000
- 自 然 増 減 率：自然増加数÷10 月 1 日現在人口×1,000
- 乳 児 死 亡 率：年間乳児死亡数÷年間出生数×1,000
- 新生児死亡率：年間新生児死亡数÷年間出生数×1,000
- 周産期死亡率：年間周産期死亡数÷（年間出生数＋年間の妊娠満 22 週以後の死産数）
×1,000
- 妊娠満 22 週以後の死産率：年間の妊娠満 22 週以後の死産数÷（年間出生数＋年間の妊娠
満 22 週以後の死産数）×1,000
- 死 産 率：年間死産数÷年間出産数（死産数＋出生数）×1,000
- 早期新生児死亡率：年間早期新生児死亡数÷年間出生数×1,000
- 婚 姻 率：年間婚姻届出件数÷10 月 1 日現在人口×1,000
- 離 婚 率：年間離婚届出件数÷10 月 1 日現在人口×1,000
- 合計特殊出生率：（母の年齢別出生数÷同年齢の女子人口）の 15 歳から 49 歳までの合計²⁾
- 年齢調整死亡率：{観察集団の年齢階級別死亡率×年齢階級別基準人口} の各年齢階級の
(旧訂正死亡率) 総和÷基準人口の総数³⁾×100,000

1) 比率の算出に用いた人口は、令和 6 年 10 月 1 日現在推計人口（総務省統計局）及び
三重県月別人口調査結果（三重県政策企画部統計課）による。

2) 都道府県別及び市町村別の値は、5 歳階級で算出し、5 倍したものを合計している。

3) 平成 27 年モデル人口による。

Ⅱ 松阪市の結果の概要

1 人口静態（令和 7 年 10 月 1 日現在）

- ・ 総人口は 154,802 人、世帯総数は 75,143 世帯。
- ・ 前年比で総人口は 1,523 人減少、世帯総数は 219 世帯増加。
- ・ 年少人口（0～14 歳）は 17,083 人（11.0%）、生産年齢人口（15～64 歳）は 89,222 人（57.6%）、老年人口（65 歳以上）は 48,497 人（31.3%）。

2 人口動態（令和 6 年 1 月 1 日～12 月 31 日）

① 出生数

- ・ 出生数は 803 人、前年より 58 人減少。
- ・ 出生率（人口千対）は 5.2、全国の出生率は 5.7、三重県では 5.4 となっている。
- ・ 合計特殊出生率は 1.17、全国の合計特殊出生率は 1.15、三重県では 1.24 となっている。

② 死亡数

- ・ 死亡数は 2,146 人、前年より 82 人減少。
- ・ 死亡率（人口千対）は 14.0、全国の死亡率は 13.3、三重県では 14.6 となっている。
- ・ 死因別死亡数は、第 1 位は悪性新生物 444 人で死亡総数の 20.7%を占める。第 2 位は心疾患 326 人（15.2%）、第 3 位は老衰 298 人（13.9%）。

③ 自然増減数

- ・ 自然増減数（出生数から死亡数を減じたもの）はマイナス 1,343 人。前年のマイナス 1,367 人より 24 人減少。平成 17 年から 19 年連続してマイナス。

④ 婚姻・離婚数

- ・ 婚姻件数は 506 組。前年より 22 組減少。
- ・ 婚姻率（人口千対）は 3.3 で前年は 3.4 であった。全国の婚姻率は 4.0、三重県では 3.7 となっている。
- ・ 離婚件数は 242 組。前年より 17 組減少。
- ・ 離婚率（人口千対）は、1.6 で前年より減少している。全国の離婚率は 1.6、三重県でも 1.5 となっている。

Ⅲ 調査の結果

1 人口静態（令和 7 年 10 月 1 日現在）

（1）総人口

令和 7 年 10 月 1 日現在の松阪市の総人口は 154,802 人である。平成 20 年の総人口 171,388 人をピークに減少し、令和 6 年 10 月から令和 7 年 9 月までの 1 年間で 1,523 人減少した。

図 1 人口の推移

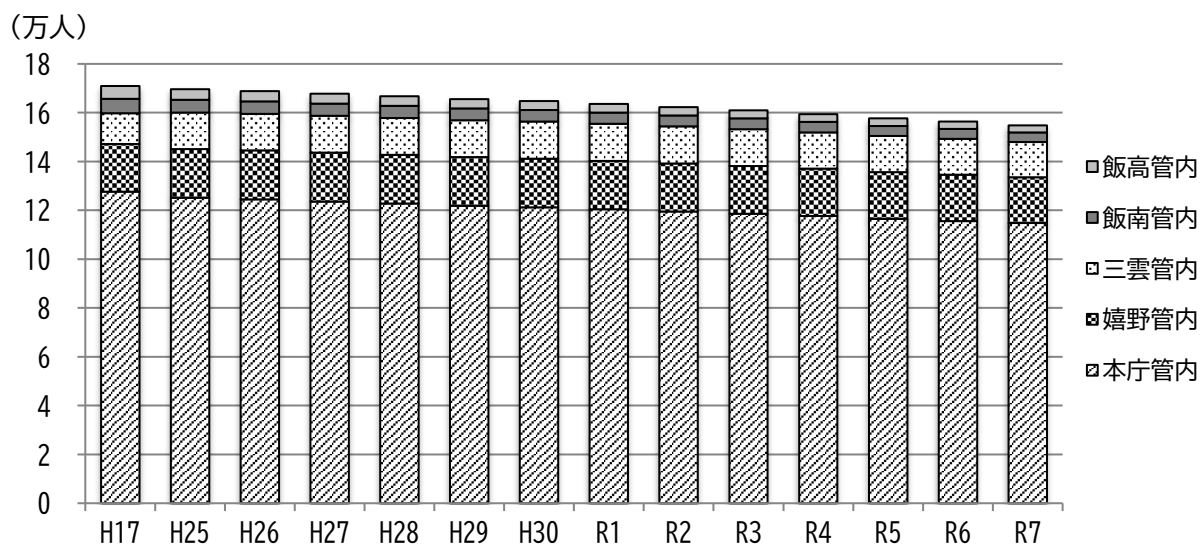


表 1 管内別人口と推移（人）

	松阪市	管内				
		本庁	嬉野	三雲	飯南	飯高
H17	168,973	127,142	19,021	12,008	5,800	5,002
H25	169,560	125,119	20,020	14,864	5,228	4,329
H26	168,864	124,455	20,092	14,976	5,141	4,200
H27	167,733	123,642	19,998	15,063	4,977	4,053
H28	166,705	122,863	19,934	15,089	4,875	3,944
H29	165,573	121,837	19,974	15,135	4,798	3,829
H30	164,777	121,282	19,883	15,257	4,664	3,691
R1	163,644	120,477	19,794	15,251	4,572	3,550
R2	162,244	119,473	19,691	15,200	4,448	3,432
R3	160,949	118,662	19,524	15,087	4,351	3,325
R4	159,423	117,691	19,360	14,920	4,255	3,197
R5	157,646	116,466	19,126	14,826	4,137	3,091
R6	156,325	115,627	18,962	14,673	4,061	3,002
R7	154,802	114,756	18,747	14,421	3,986	2,892

※住民基本台帳（10 月 1 日）による。

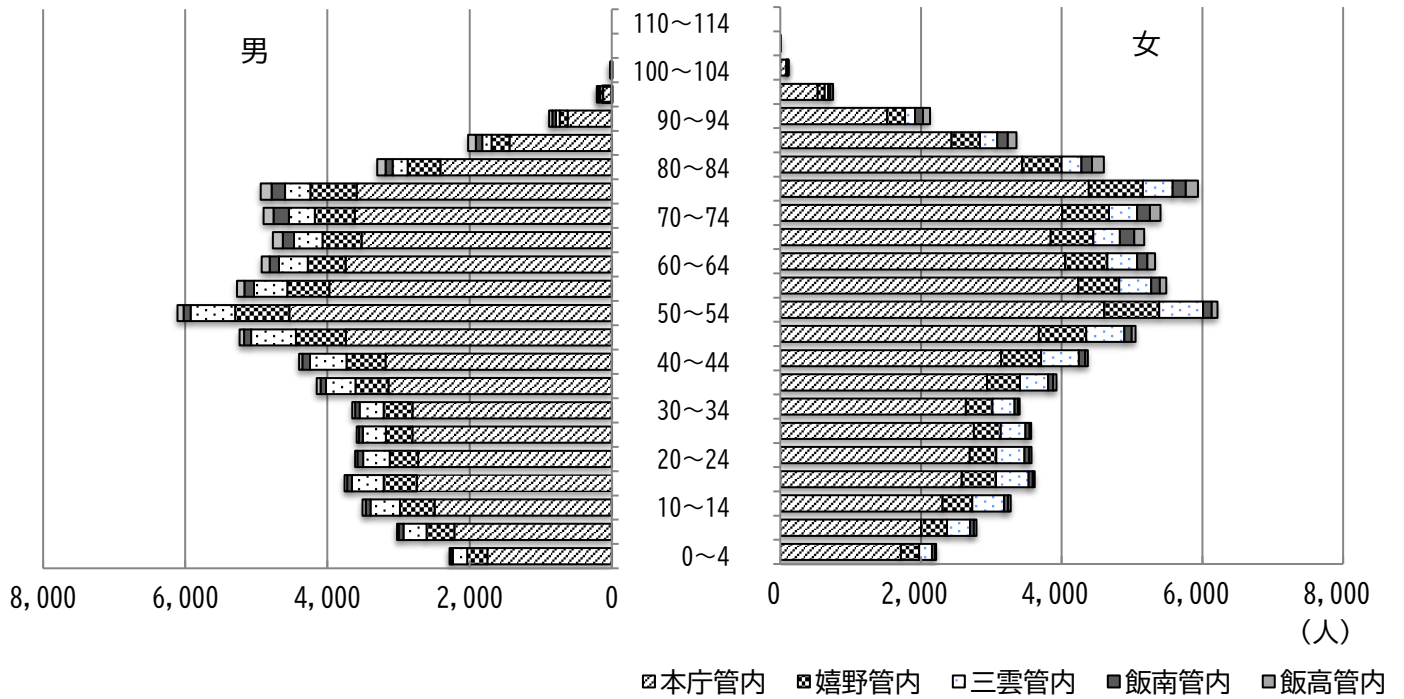
令和 7 年 10 月 1 日時点

ただし H17 年は、国勢調査結果による。

(2) 年齢別人口

令和 7 年 10 月 1 日現在の松阪市の年齢別人口をみると、男女ともに 50～54 歳区分の人口が最も多い。近年は、昭和 46～49 年の第 2 次ベビーブーム期（50～54 歳区分）をピークとして出生数が年々減少してきている。

図2 人口ピラミッド



(3) 年齢3区分別人口

令和7年10月1日現在の松阪市の年少人口(0～14歳)は17,083人、生産年齢人口(15～64歳)は89,222人、老年人口(65歳以上)は48,497人であった。高齢化率(65歳以上の高齢者が人口に占める割合)は31.3%であった。

表2 年齢3区分別人口

	総数(人)	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
松阪市	154,802	17,083	11.0	89,222	57.6	48,497	31.3
本庁管内	114,756	12,480	10.9	66,697	58.1	35,579	31.0
嬉野管内	18,747	2,208	11.8	10,546	56.3	5,993	32.0
三雲管内	14,421	1,912	13.3	9,048	62.7	3,461	24.0
飯南管内	3,986	318	8.0	1,818	45.6	1,850	46.4
飯高管内	2,892	165	5.7	1,113	38.5	1,614	55.8

令和7年10月1日時点

図3 年齢3区分別人口割合の推移

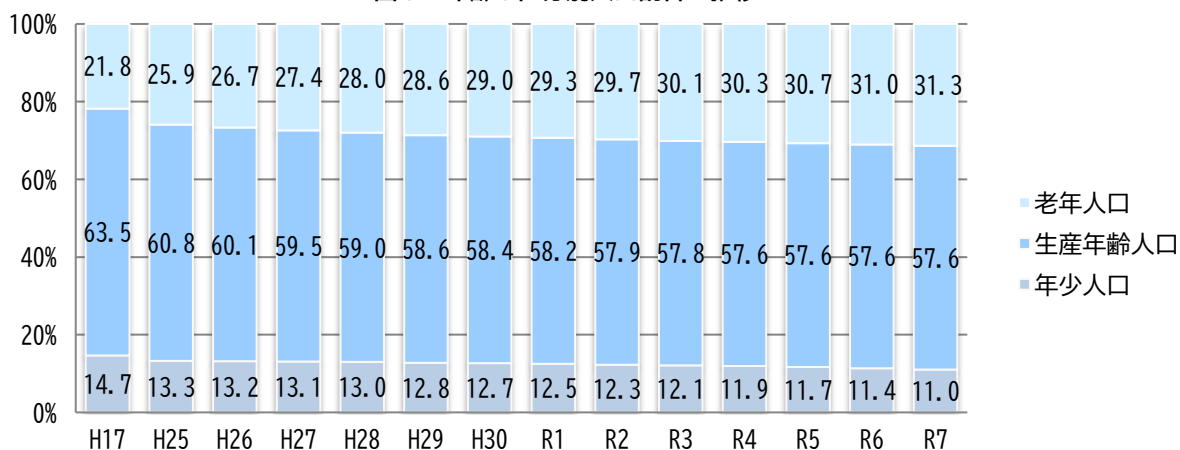
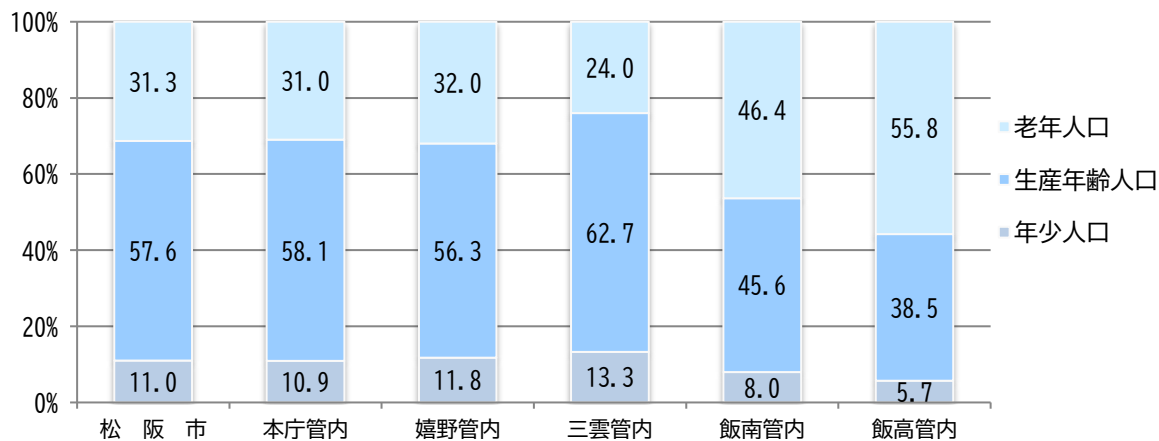


図4 管内別の年齢3区分別人口割合



令和7年10月1日時点

(4) 世帯数

令和7年10月1日現在の松阪市の世帯総数 75,143 世帯、1世帯当たり平均世帯人員は 2.06 人である。令和6年10月から令和7年9月までの1年間で、世帯総数は 219 世帯増加した。

表3 人口と世帯数、1世帯あたり人員の推移

	H17	H25	H26	H27	H28	H29	H30
人 口	168,973	169,560	168,864	167,733	166,705	165,573	164,777
世帯数	64,147	71,237	71,892	72,218	72,456	72,851	73,360
1世帯人員	2.63	2.38	2.35	2.32	2.30	2.27	2.25
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
人 口	163,644	162,244	160,949	159,423	157,646	156,325	154,802
世帯数	73,783	74,037	74,303	74,423	74,541	74,924	75,143
1世帯人員	2.22	2.19	2.17	2.14	2.11	2.09	2.06

図5 人口と世帯数、1世帯あたり人員の推移

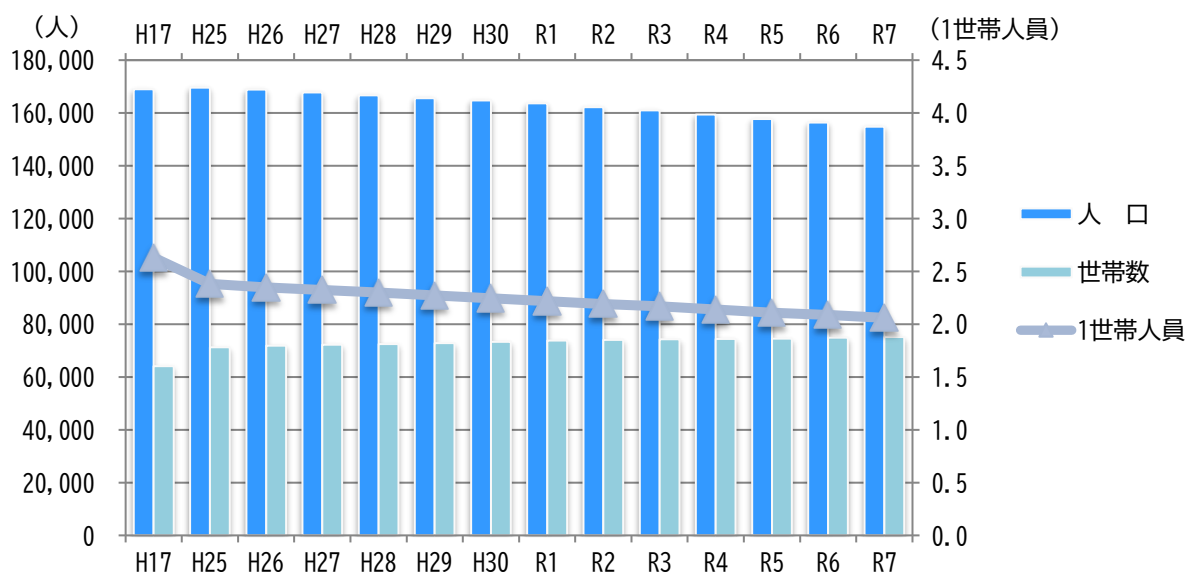


表4 管内別の人口と世帯数、1世帯あたり人員一覧

	総数 (人)	男性 (人)	女性 (人)	世帯数 (世帯)	1世帯あたりの人員 (人)
松阪市	154,802	74,532	80,270	75,143	2.06
本庁管内	114,756	55,189	59,567	56,451	2.03
嬉野管内	18,747	9,031	9,716	8,675	2.16
三雲管内	14,421	7,023	7,398	6,516	2.21
飯南管内	3,986	1,900	2,086	1,917	2.08
飯高管内	2,892	1,389	1,503	1,584	1.83

令和7年10月1日時点

2 人口動態（令和 6 年 1 月 1 日～12 月 31 日）

※率の算出：分母に用いた人口は、総務省統計局「令和 6 年 10 月 1 日現在推計人口」の三重県内の日本人人口（松阪市総数 153,226 人、男 73,331 人、女 79,895 人）を用いている。

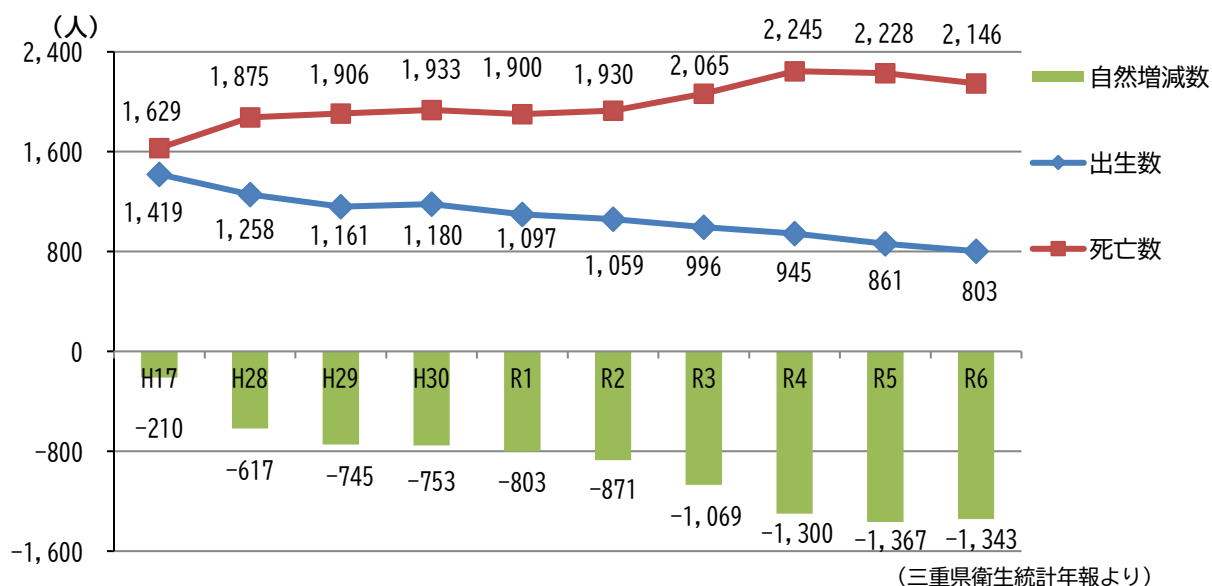
（1）人口動態の概況

令和 6 年の出生数は 803 人、死亡数は 2,146 人であり、自然増減数はマイナス 1,343 人であった。平成 17 年以降、死亡率（人口千対）が出生率（人口千対）を上回り、自然増減数はマイナスである。

表 5 人口動態一覧

	松阪市					全国	三重県
	実数（人）			率(‰)		率(‰)	
	R6	R5	対前年増減	R6	R5	R6	
出生	803	861	△ 58	5.2	5.6	5.7	5.4
死亡	2,146	2,228	△ 82	14.0	14.4	13.3	14.6
乳児死亡	0	3	△ 3	-	3.5	1.8	1.1
新生児死亡	0	0	0	-	-	0.9	0.3
自然増減	△ 1,343	△ 1,367	24	△ 8.8	△ 8.8	△ 7.6	△ 9.2
合計特殊出生率	-	-	-	1.17	1.22	1.15	1.24
死産	22	23	△ 1	26.7	26.0	21.8	21.0
婚姻	506	528	△ 22	3.3	3.4	4.0	3.7
離婚	242	259	△ 17	1.6	1.7	1.6	1.5

図 6 出生数と死亡数の推移



(2) 出生

①出生数・出生率

令和6年の出生数は、803人（男児397人、女児406人）で、前年の出生数861人より58人減少し、出生率（人口千対）は5.2であった。

表6 出生数と出生率

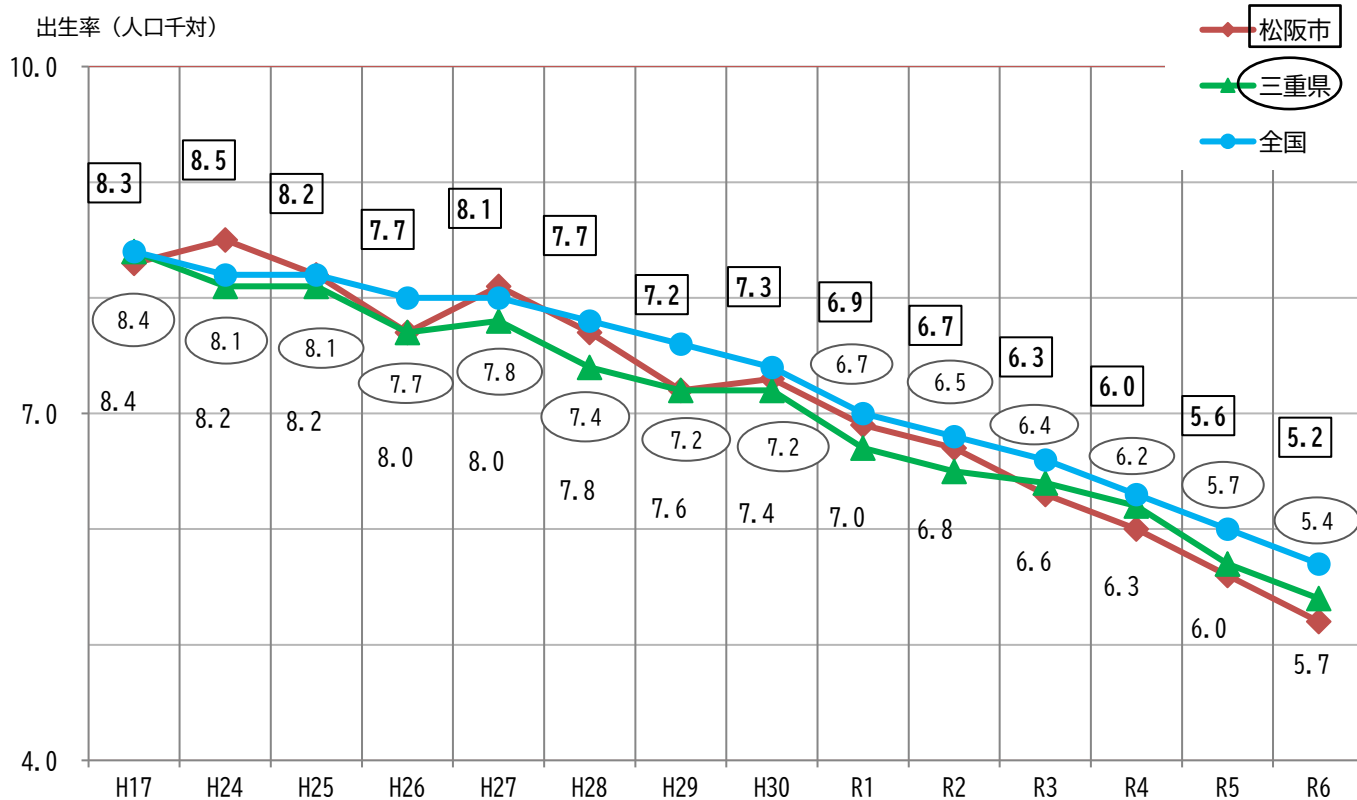
出生数（人）			出生率（人口千対）
総数	男児	女児	
803	397	406	5.2

（三重県衛生統計年報より）

②出生率の推移

松阪市の出生率は、近年、全国・三重県と同様に減少傾向である。

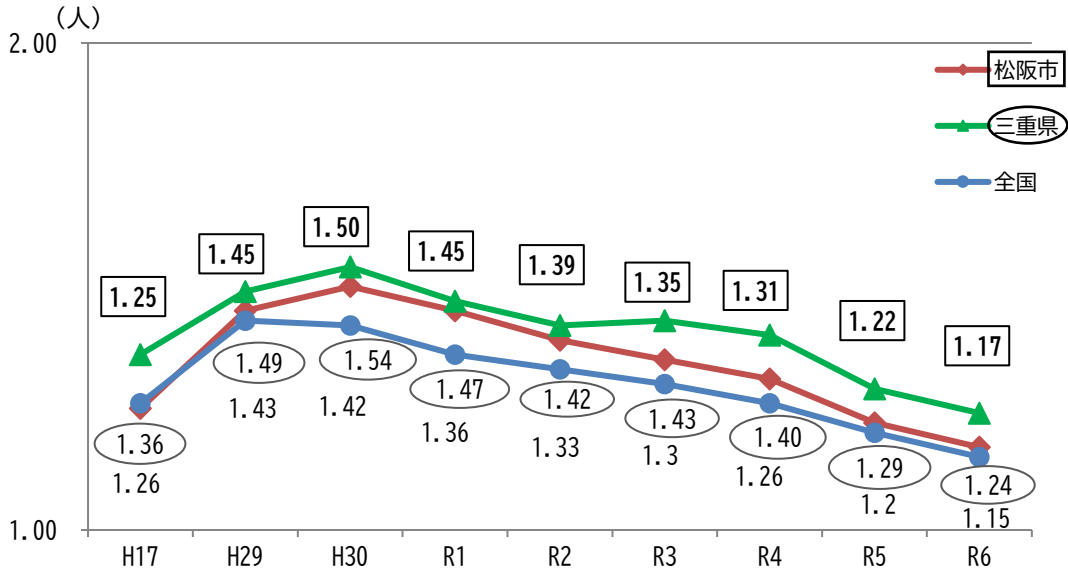
図7 出生率の推移



③合計特殊出生率

令和 6 年の合計特殊出生率は、1.17 で前年の 1.22 を下回った。

図 8 合計特殊出生率の推移



④母親の出産年齢

令和 6 年の母親の出産年齢別の割合は、30 歳～34 歳が 36.2%で最も多かった。

図 9-① 母親の出産年齢

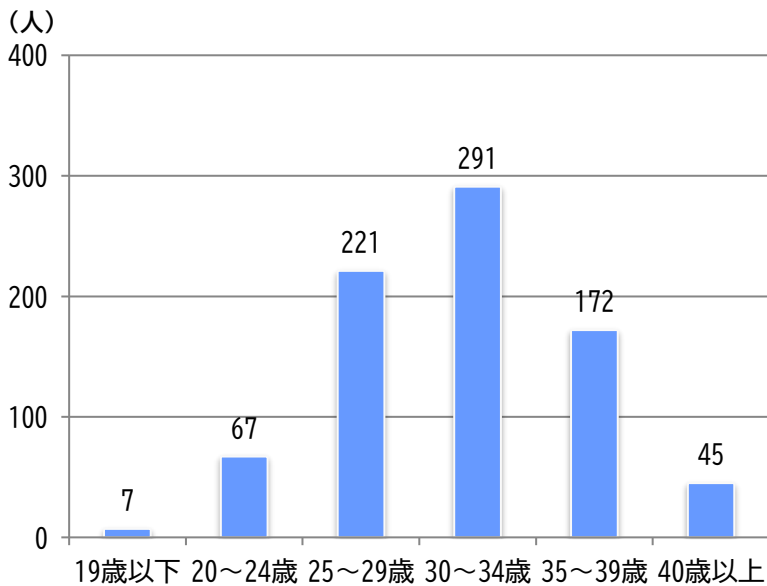
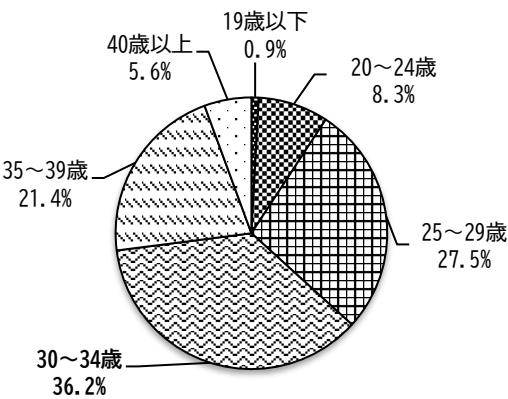


図 9-② 母親の出産年齢の割合



⑤出生体重

令和6年の出生数803人（男児397人、女児406人）のうち、2,500g未満の低出生体重児は95人で、割合は11.8%であった。また、1,500g未満の極低出生体重児は10人（1.2%）であり、1,000g未満の超低出生体重児は、2人（0.2%）であった。

図10-① 出生体重別人数

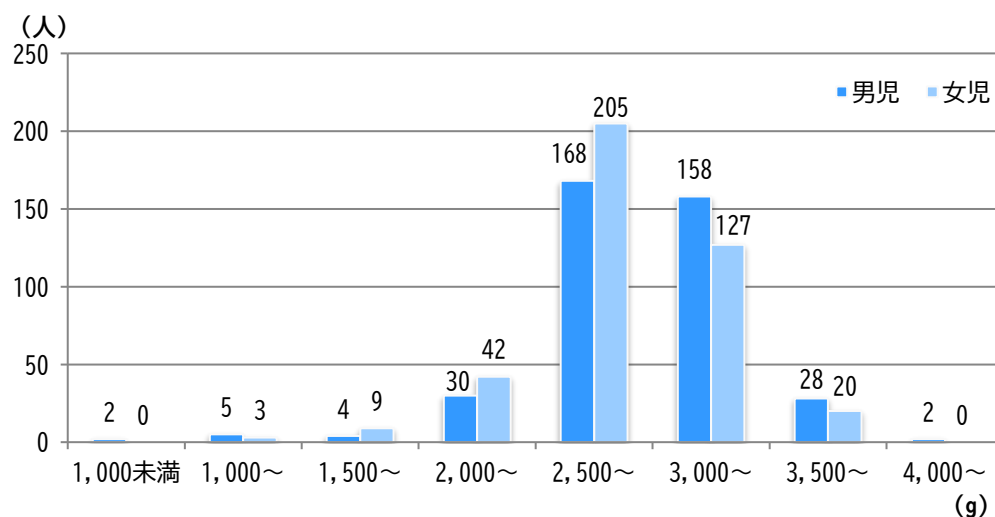
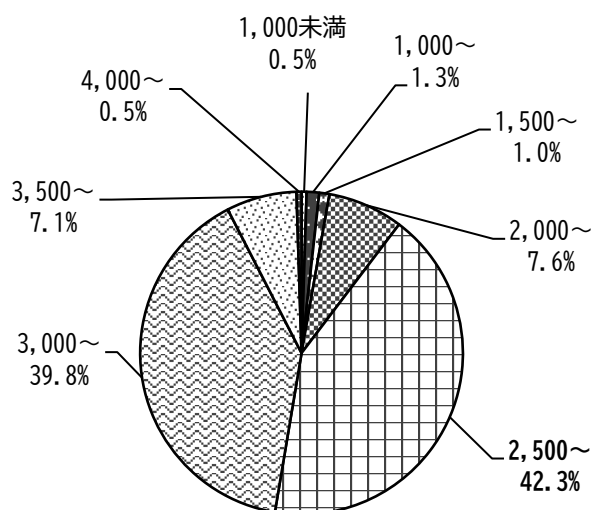
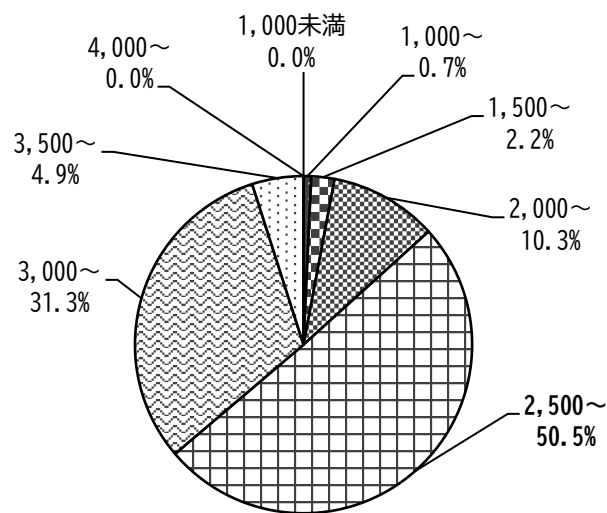


図10-② 出生時体重別構成割合（男児）



□1,000未満 ■1,000～ ■1,500～ ■2,000～
 □2,500～ □3,000～ □3,500～ ■4,000～

図10-③ 出生時体重別構成割合（女児）



□1,000未満 ■1,000～ ■1,500～ ■2,000～
 □2,500～ □3,000～ □3,500～ ■4,000～

(3) 死 亡

①死亡数・死亡率

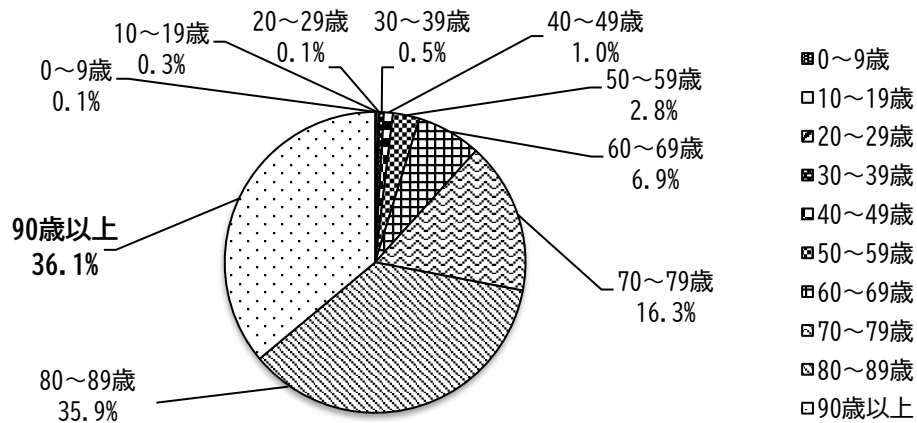
令和 6 年の死亡数は 2,146 人で、前年の 2,228 人より 82 人減少した。うち男性 1,094 人、女性 1,052 人であった。人口千人に対する粗死亡率（以下、死亡率）は 14.0 で前年の 14.4 を下回った。
年代別の死亡数をみると、90 歳以上が 774 人（36.1%）と最も多かった。

表 7 死亡数・死亡率と 65 歳以上の死亡状況

死亡数（人）			死亡率 （人口千対）	65歳以上（再掲）		75歳以上（再掲）	
総数	男	女		実数（人）	率（%）	実数（人）	率（%）
2,146	1,094	1,052	14.0	1,987	92.6	1,752	81.6

（三重県衛生統計年報より）

図 11 年齢別死亡人数の割合

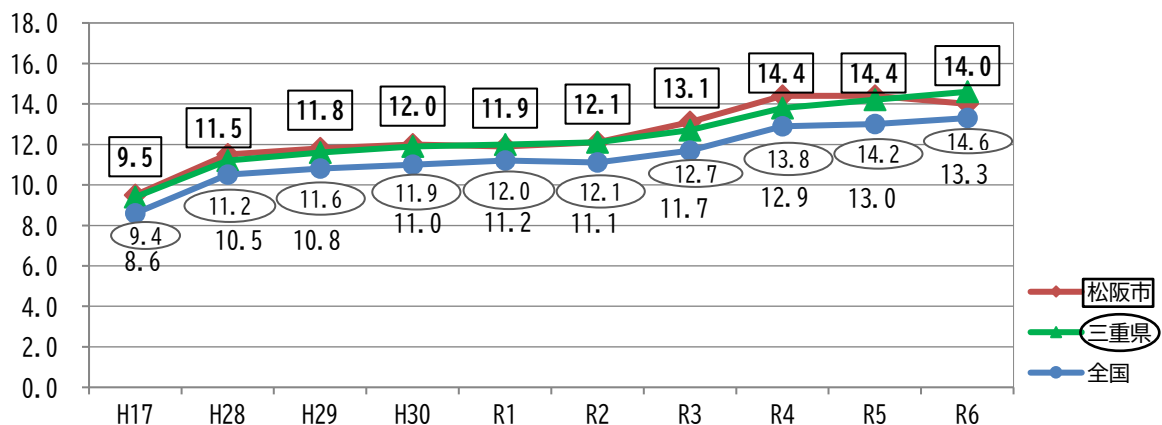


②死亡率の推移

人口の高齢化の影響により、上昇傾向にある。

図 12 死亡率の推移

死亡率（人口千対）



③死因別死亡数・年齢調整死亡率

令和6年の主要死因は、悪性新生物（20.7%）、心疾患※¹（15.2%）、老衰（13.9%）、その他の呼吸器系の疾患※²（7.7%）の順であった。令和5年の死因別死亡数と比較すると、第1～4位の順位の変化はなかったが、血管性及び詳細不明の認知症と不慮の事故、腎不全とアルツハイマー病の順位が入れ替わった。

表8-① 死因別死亡数と年齢調整死亡率（人口10万対）

順位	全 体		
	死 因	人数(人)	年齢調整死亡率
1	悪性新生物＜腫瘍＞	444	235.86
2	心疾患（高血圧性を除く）	326	152.75
3	老衰	298	123.70
4	その他の呼吸器系の疾患	165	76.92
5	脳血管疾患	124	58.85
6	肺炎	105	47.13
7	血管性及び詳細不明の認知症	61	25.92
8	不慮の事故	54	28.11
9	腎不全	35	16.32
10	アルツハイマー病	33	13.90
-	その他	501	-
	総計	2,146	1,031.56

（三重県衛生統計年報より）

図13 死亡総数に占める割合

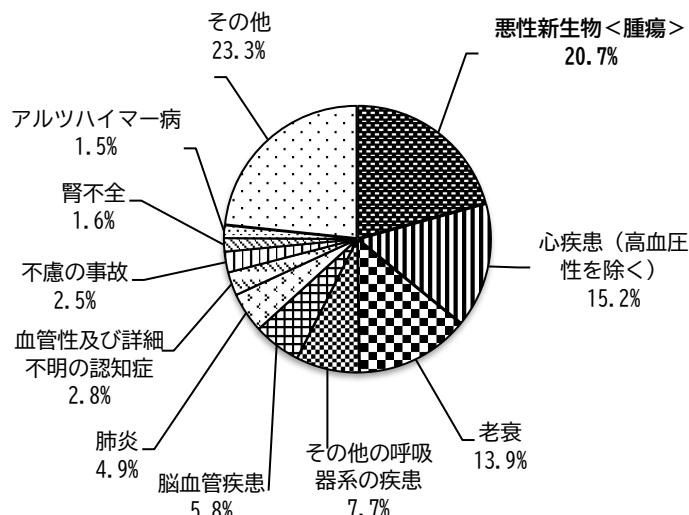


表8-② 男女別の死因別死亡者数と年齢調整死亡率（人口10万対）

順位	男性			順位	女性		
	死因	人数(人)	年齢調整死亡率		死因	人数(人)	年齢調整死亡率
1	悪性新生物＜腫瘍＞	253	321.42	1	老衰	212	123.32
2	心疾患(高血圧性を除く)	144	185.01	2	悪性新生物＜腫瘍＞	191	172.61
3	その他の呼吸器系の疾患	103	133.91	3	心疾患(高血圧性を除く)	182	124.31
4	老衰	86	118.59	4	脳血管疾患	65	44.97
5	肺炎	69	90.89	5	その他呼吸器系の疾患	62	43.19
6	脳血管疾患	59	77.15	6	血管性及び詳細不明の認知症	40	23.49
7	不慮の事故	37	48.49	7	肺炎	36	23.58
8	慢性閉塞性肺疾患	23	29.42	8	アルツハイマー病	22	11.94
9	血管性及び詳細不明の認知症	21	26.67	9	腎不全	18	12.68
9	自殺	21	29.13	10	不慮の事故	17	15.49
10	腎不全	17	22.09	-	その他	207	-
-	その他	261	-		総計	1,052	752.21
	総計	1,094	1,419.87				

※1「心疾患」は「心疾患（高血圧性を除く）」である

※2 その他の呼吸器系の疾患は誤嚥性肺炎、間質性肺炎、その他呼吸器の疾患を含む

④年齢調整死亡率の比較

松阪市の年齢調整死亡率は、三重県と比較すると、その他呼吸器系の疾患、肺炎、血管性及び詳細不明の認知症、アルツハイマー病が多かった。

表9 年齢調整死亡率の比較

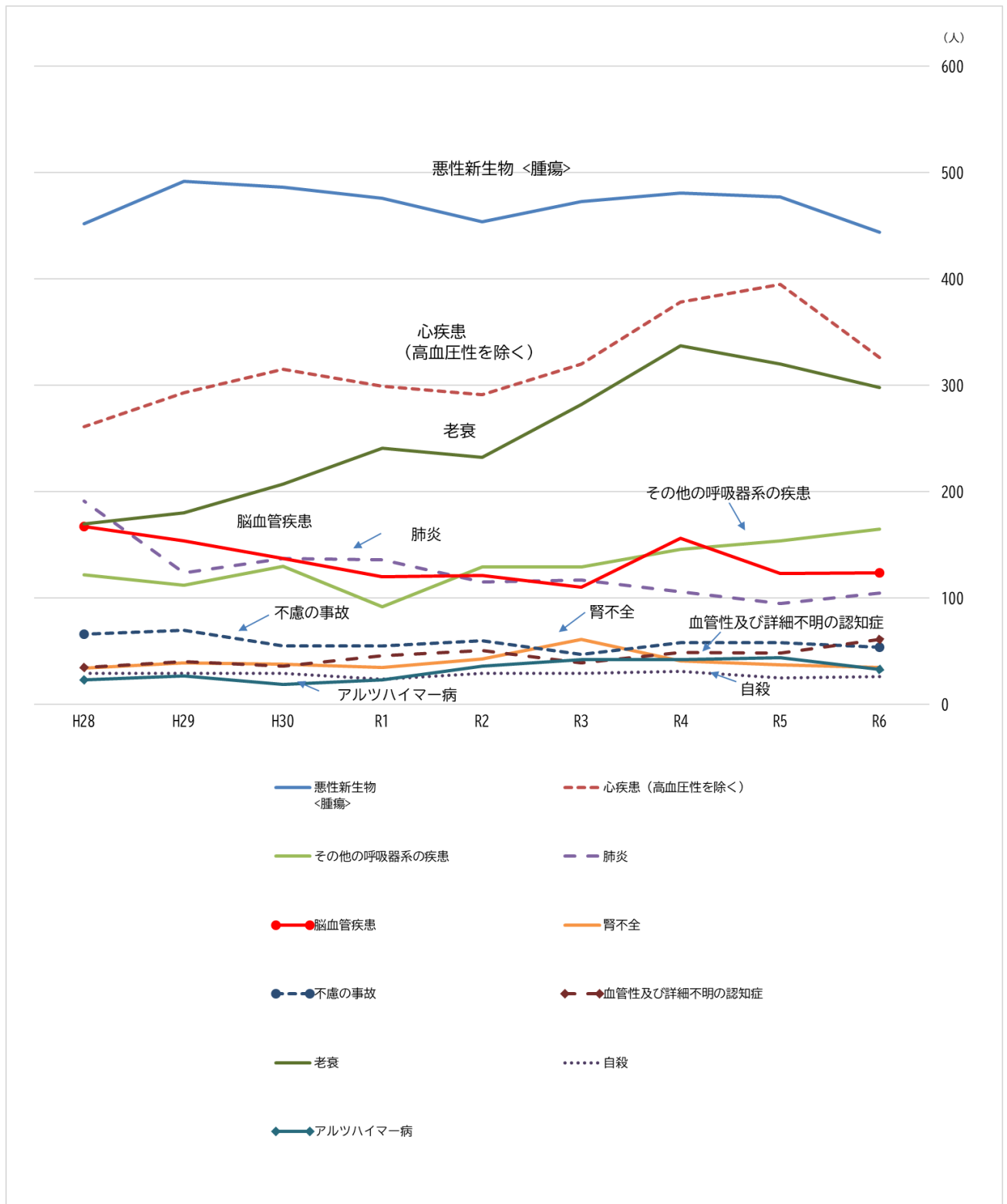
死因順位		松阪市				三重県		
		死亡数(人)	年齢調整死亡率			年齢調整死亡率		
			総数	男女別		総数	男女別	
				男	女		男	女
1	悪性新生物＜腫瘍＞	444	235.86	321.42	172.61	259.35	359.75	188.01
2	心疾患(高血圧性を除く)	326	152.75	185.01	124.31	164.28	217.13	123.55
3	老衰	298	123.70	118.59	123.32	149.47	141.11	151.16
4	その他の呼吸器系の疾患	165	76.92	133.91	43.19	65.62	109.94	37.86
5	脳血管疾患	124	58.85	77.15	44.97	62.30	78.06	49.14
6	肺炎	105	47.13	90.89	23.58	45.86	81.69	23.81
7	血管性及び詳細不明の認知症	61	25.92	26.67	23.49	17.04	21.00	14.52
8	不慮の事故	54	28.11	48.49	15.49	30.50	47.41	19.20
9	腎不全	35	16.32	22.09	12.68	19.44	28.83	13.77
10	アルツハイマー病	33	13.90	13.85	11.94	11.96	13.04	10.80
	その他	501						
総計		2146	1,031.56	1,419.87	752.21	1,074.59	1,447.02	805.71

(三重県衛生統計年報より)

⑤死因別死亡数の推移

松阪市の死因別死亡の推移をみると、悪性新生物、心疾患、老衰の順位の変化はない。
その他の呼吸器系の疾患は増加傾向にある。

図 1 4 死因別死亡数の推移



⑥死因別死亡

表10 死因別死亡一覧（人）

病 名	死因簡単分類コード	死亡数	男性	女性
腸管感染症	01100	1	-	1
結核	01200	3	1	2
敗血症	01300	17	12	5
ウイルス性肝炎	01400	1	1	-
ヒト免疫不全ウイルス（HIV）病	01500	-	-	-
悪性新生物＜腫瘍＞	02100	444	253	191
その他の新生物＜腫瘍＞	02121	19	12	7
貧血	03100	2	2	-
糖尿病	04100	15	10	5
血管性及び詳細不明の認知症	05100	61	21	40
髄膜炎	06100	-	-	-
脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	06200	1	-	1
パーキンソン病	06300	23	13	10
アルツハイマー病	06400	33	11	22
眼及び付属器の疾患	07000	-	-	-
耳及び乳様突起の疾患	08000	-	-	-
高血圧性疾患	09100	23	8	15
心疾患（高血圧性を除く）	09200	326	144	182
脳血管疾患	09300	124	59	65
大動脈瘤及び解離	09400	32	16	16
インフルエンザ	10100	1	-	1
肺炎	10200	105	69	36
急性気管支炎	10300	-	-	-
慢性閉塞性肺疾患	10400	27	23	4
喘息	10500	-	-	-
その他の呼吸器系の疾患	10600	165	103	62
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	11100	2	1	1
ヘルニア及び腸閉塞	11200	6	2	4
肝疾患	11300	17	11	6
皮膚及び皮下組織の疾患	12000	7	2	5
筋骨格系及び結合組織の疾患	13000	11	5	6
糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	14100	6	4	2
腎不全	14200	35	17	18
妊娠、分娩及び産じょく	15000	-	-	-
周産期に発生した病態	16000	-	-	-
先天奇形、変形及び染色体異常	17000	3	2	1
老衰	18100	298	86	212
乳幼児突然死症候群	18200	-	-	-
不慮の事故	20100	54	37	17
自殺	20200	26	21	5
他殺	20300	-	-	-

（三重県衛生統計年報より）

⑦悪性新生物の部位別死亡

表 1 1 -① 悪性新生物の部位別死亡

全体			
順位	部位	人数（人）	割合（％）
1	気管、気管支及び肺	102	23.0
2	胃	54	12.1
3	膵	53	11.9
4	結腸	38	8.5
5	肝及び肝内胆管	26	5.9
6	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	25	5.6
7	前立腺	17	3.8
7	悪性リンパ腫	17	3.8
8	乳房	14	3.2
8	胆のう及びその他の胆道	14	3.2
8	直腸S状結腸移行部及び直腸	14	3.2
9	膀胱	10	2.3
9	その他のリンパ組織，造血組織及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞	10	2.3
10	白血病	9	2.0
10	子宮	9	2.0
-	その他	32	7.2
総数		444	100.0

（三重県衛生統計年報より）

表 1 1 -② 男女別の悪性新生物の部位別死亡

男性				女性			
順位	部位	人数（人）	割合（％）	順位	部位	人数（人）	割合（％）
1	気管、気管支及び肺	66	26.1	1	気管、気管支及び肺	36	18.8
2	胃	36	14.2	2	膵	25	13.1
3	膵	28	11.1	3	結腸	20	10.5
4	肝及び肝内胆管	18	7.1	4	胃	18	9.4
4	結腸	18	7.1	5	乳房	14	7.3
5	前立腺	17	6.7	6	その他の悪性新生物	12	6.3
6	その他の悪性新生物	13	5.1	7	胆のう及びその他の胆道	11	5.7
7	悪性リンパ腫	10	3.9	8	子宮	9	4.7
8	膀胱	8	3.2	9	肝及び肝内胆管	8	4.2
9	食道	7	2.8	10	直腸	7	3.7
9	直腸	7	2.8	10	卵巣	7	3.7
10	その他のリンパ組織，造血組織及び関連組織	6	2.4	10	悪性リンパ腫	7	3.7
-	その他	19	7.5	-	その他	17	8.9
総数		253	100.0	総数		191	100.0

（三重県衛生統計年報より）

⑧不慮の事故の内訳と比較

松阪市では、三重県と比較すると交通事故、不慮の窒息、有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露による死亡割合が多くなっている。

表１２ 不慮の事故の内訳と比較

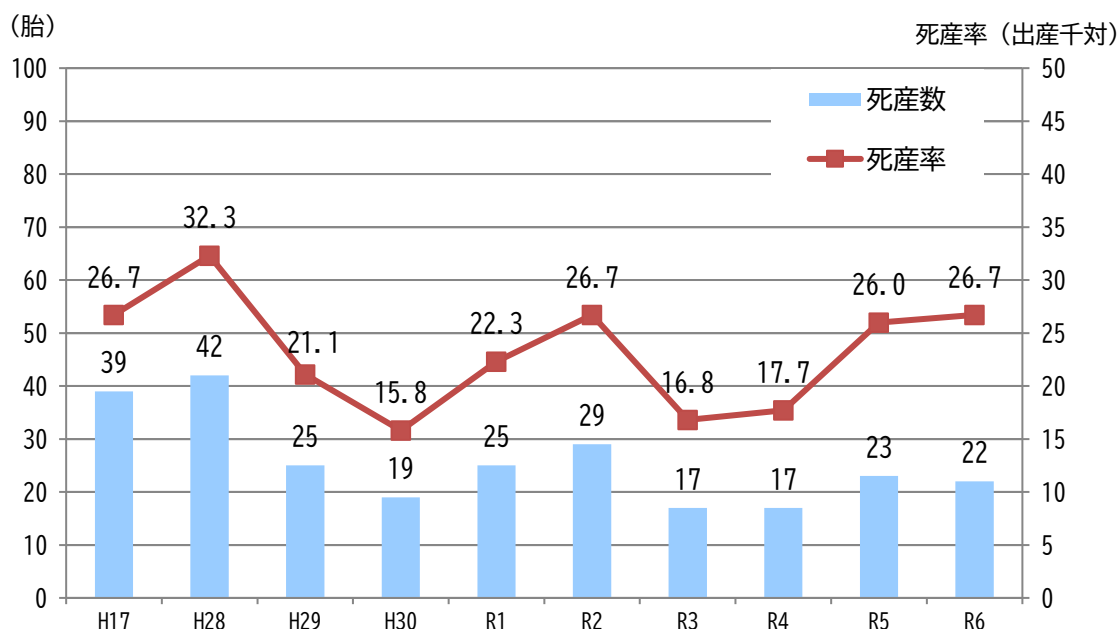
内 訳	松阪市		三重県		全国	
	実人数 (人)	割合 (%)	実人数 (人)	割合 (%)	実人数 (人)	割合 (%)
転倒・転落	15	27.8	220	33.1	11,935	26.1
交通事故	8	14.8	50	7.5	3,511	7.7
不慮の溺死及び溺水	6	11.1	87	13.1	9,905	21.6
不慮の窒息	15	27.8	132	19.8	8,186	17.9
煙・火及び火災への曝露	0	0.0	16	2.4	982	2.1
有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	1	1.9	9	1.4	543	1.2
その他の不慮の事故	9	16.6	151	22.7	10,681	23.4
総数	54	100.0	665	100.0	45,743	100.0

(三重県衛生統計年報より)

(4) 死産

妊娠満 12 週（妊娠第 4 月）以後の死児の出産を死産といい、令和 6 年に届出のあった死産数は 22 胎、死産率（出産千対）は 26.7 であった。

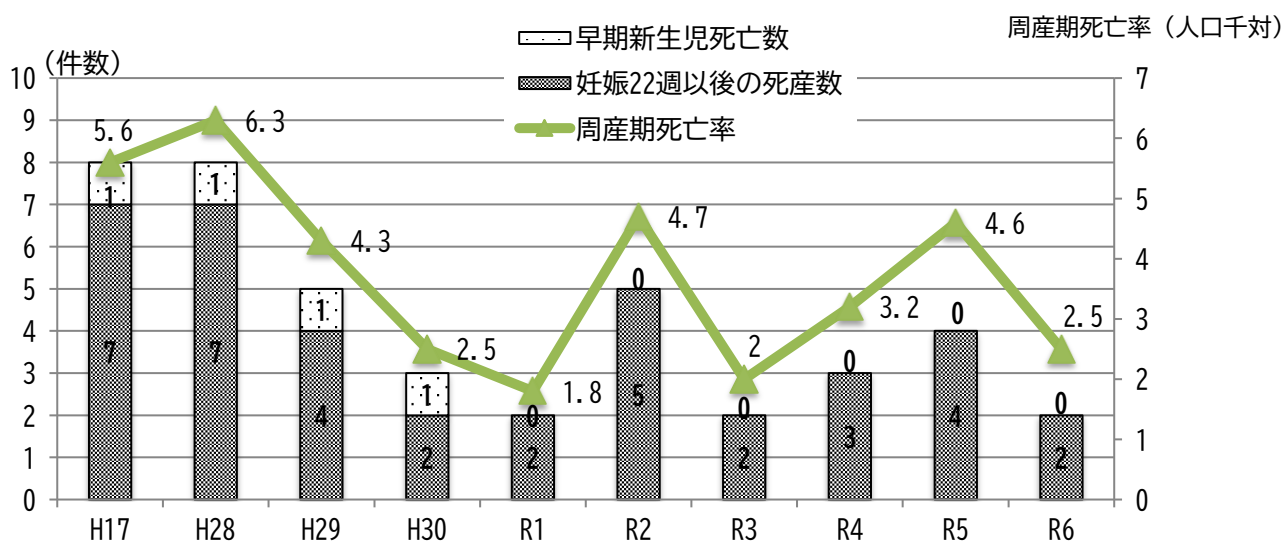
図 15 死産の推移



(5) 周産期死亡

令和 6 年の周産期死亡数は、2 件（妊娠満 22 週以後の死産 2 胎、生後 1 週未満の早期新生児死亡 0 人）、周産期死亡率（人口千対）は、2.5 であった。

図 16 周産期死亡の推移



(6) 乳児死亡

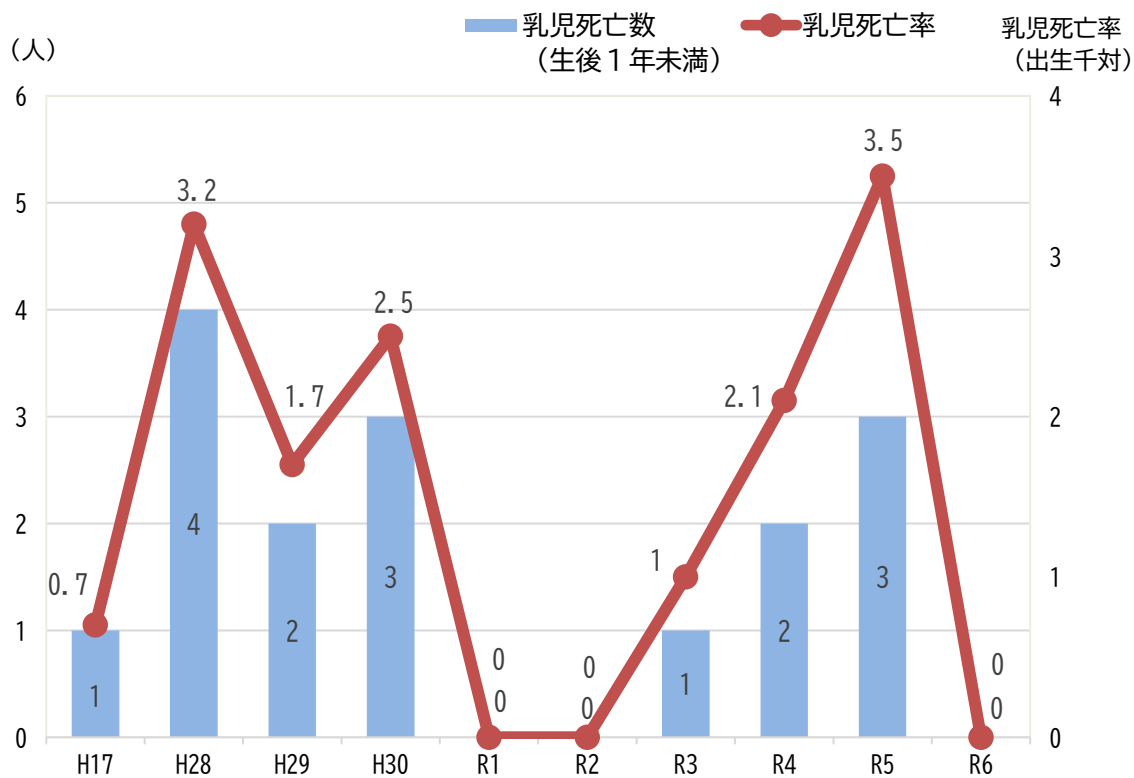
令和6年の乳児死亡（生後1年未満の死亡）数は0人であった。

表13 乳児死亡の推移（人）

乳児死亡の内訳	H17	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
乳児死亡数	1	4	2	3	0	0	1	2	3	0
新生児死亡数（再掲）	0	2	1	1	0	0	1	0	0	0
早期新生児死亡数（再掲）	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0

（三重県衛生統計年報より）

図17 乳児死亡と乳児死亡率の推移



(7) 婚姻と離婚

令和6年の婚姻数は506組、婚姻率（人口千対）は3.3であり、離婚数242組、離婚率（人口千対）は1.6であった。

表14 婚姻数・離婚数の推移（組）

	H17	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
婚姻届	861	741	728	652	701	609	571	591	528	506
離婚届	346	303	270	323	266	266	235	256	259	242

（三重県衛生統計年報より）

図18 婚姻率の推移

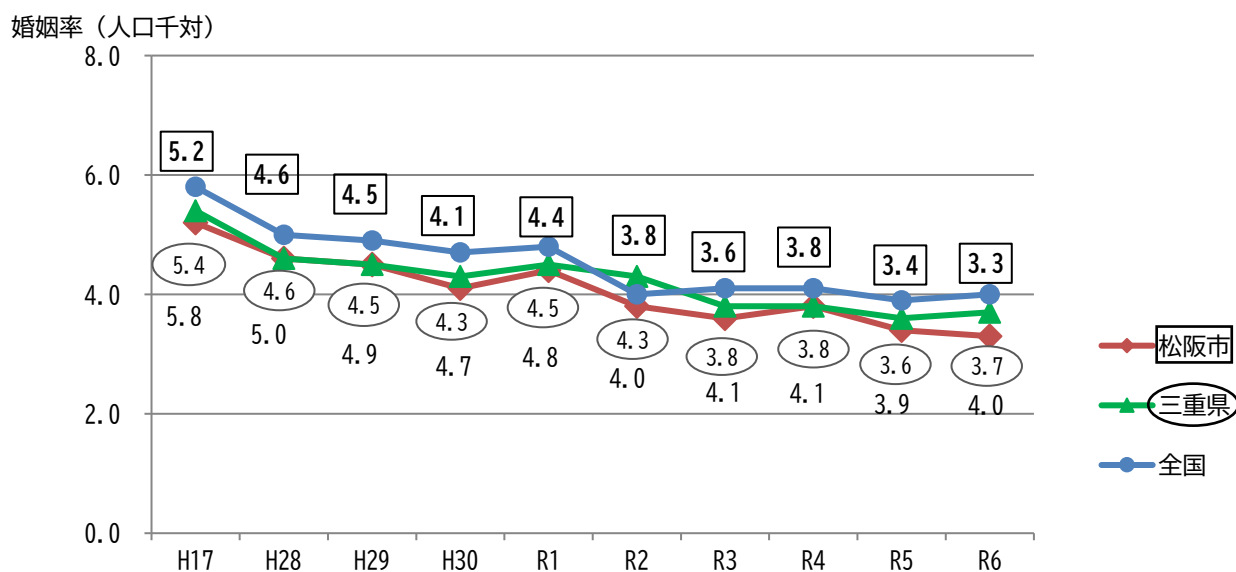
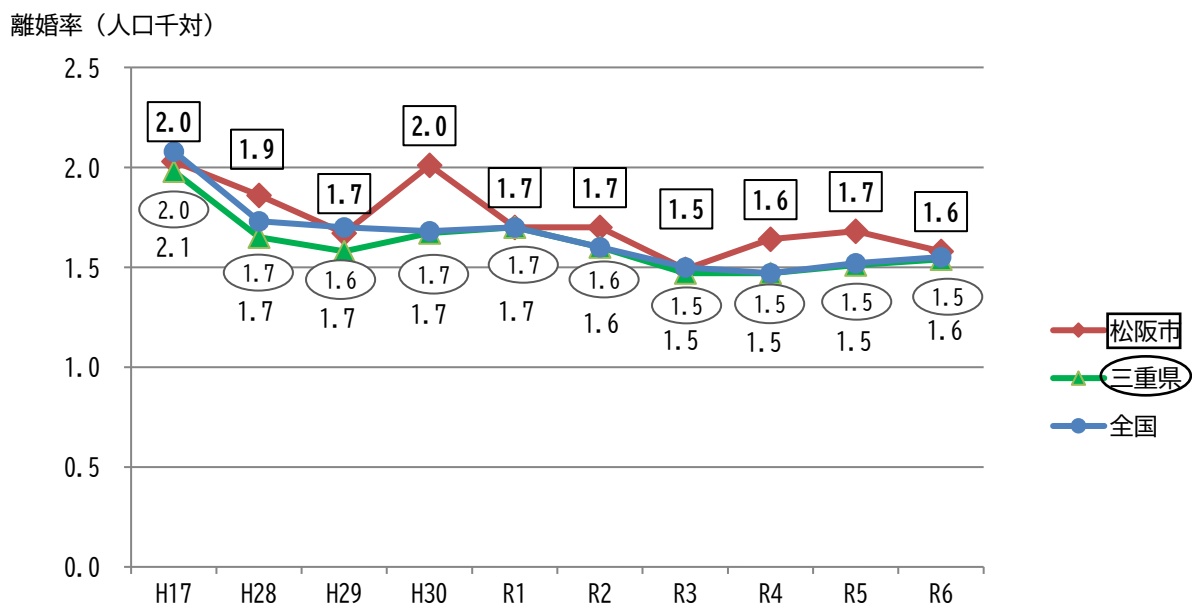


図19 離婚率の推移



【参考資料】地区別人口一覧（令和 7 年 10 月 1 日時点）

管内	地区	住民基本台帳による人口（人）			世帯数	年齢3区分別人口（人）			年齢3区分別構成割合（％）			高齢化率（％）
		計	男	女		年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	
本庁管内	第一	3,111	1,414	1,697	1,648	253	1,653	1,205	8.1	53.1	38.7	38.7
	第二	2,045	896	1,149	1,157	162	1,028	855	7.9	50.3	41.8	41.8
	第三	5,506	2,591	2,915	2,744	606	3,202	1,698	11.0	58.2	30.8	30.8
	第四	11,273	5,561	5,712	5,770	1,395	7,471	2,407	12.4	66.3	21.4	21.4
	幸	7,314	3,397	3,917	5,234	1,278	6,214	3,194	17.5	85.0	43.7	43.7
	東	3,124	1,513	1,611	1,711	376	1,850	898	12.0	59.2	28.7	28.7
	神戸	11,421	5,567	5,854	5,728	1,567	6,995	2,859	13.7	61.2	25.0	25.0
	松江	4,882	2,356	2,526	2,401	528	2,786	1,568	10.8	57.1	32.1	32.1
	朝見	1,825	896	929	857	191	928	706	10.5	50.8	38.7	38.7
	伊勢寺	3,370	1,608	1,762	1,549	322	1,669	1,379	9.6	49.5	40.9	40.9
	機殿	1,100	543	557	481	89	520	491	8.1	47.3	44.6	44.6
	花岡	21,283	10,156	11,127	8,863	2,160	10,614	5,137	10.1	49.9	24.1	24.1
	松尾	4,915	2,442	2,473	2,120	487	3,036	1,392	9.9	61.8	28.3	28.3
	阿坂	1,714	831	883	767	139	809	766	8.1	47.2	44.7	44.7
	港	3,964	1,952	2,012	1,937	371	2,255	1,338	9.4	56.9	33.8	33.8
	松ヶ崎	1,299	631	668	647	76	658	565	5.9	50.7	43.5	43.5
	西黒部	1,828	868	960	823	137	909	782	7.5	49.7	42.8	42.8
	東黒部	1,011	466	545	479	75	467	469	7.4	46.2	46.4	46.4
	宇気郷	107	47	60	72	1	39	67	0.9	36.4	62.6	62.6
	大石	1,292	620	672	667	96	595	601	7.4	46.1	46.5	46.5
	茅広江	589	290	299	263	45	290	254	7.6	49.2	43.1	43.1
	射和	3,128	1,499	1,629	1,487	330	1,716	1,082	10.5	54.9	34.6	34.6
	漕代	1,750	862	888	788	134	898	718	7.7	51.3	41.0	41.0
	大河内	1,728	826	902	797	150	791	787	8.7	45.8	45.5	45.5
	櫛田	3,693	1,794	1,899	1,666	399	1,973	1,321	10.8	53.4	35.8	35.8
	徳和	11,484	5,563	5,921	5,795	1,113	7,331	3,040	9.7	63.8	26.5	26.5
	計	114,756	55,189	59,567	56,451	12,480	66,697	35,579	10.9	58.1	31.0	31.0
嬉野管内	宇気郷	97	47	50	60	7	21	69	7.2	21.6	71.1	71.1
	中郷	825	393	432	421	58	357	410	7.0	43.3	49.7	49.7
	豊地	3,023	1,489	1,534	1,388	286	1,554	1,183	9.5	51.4	39.1	39.1
	中川	9,653	4,627	5,026	4,476	1,277	6,009	2,367	13.2	62.3	24.5	24.5
	豊田	2,598	1,237	1,361	1,125	338	1,338	922	13.0	51.5	35.5	35.5
	中原	2,551	1,238	1,313	1,205	242	1,267	1,042	9.5	49.7	40.8	40.8
	計	18,747	9,031	9,716	8,675	2,208	10,546	5,993	11.8	56.3	32.0	32.0
三雲管内	米ノ庄	2,673	1,277	1,396	1,211	382	1,531	760	14.3	57.3	28.4	28.4
	天白	6,223	3,027	3,196	2,784	884	4,124	1,215	14.2	66.3	19.5	19.5
	鵜	1,880	906	974	877	165	1,086	629	8.8	57.8	33.5	33.5
	小野江	3,645	1,813	1,832	1,644	481	2,307	857	13.2	63.3	23.5	23.5
	計	14,421	7,023	7,398	6,516	1,912	9,048	3,461	13.3	62.7	24.0	24.0
飯南管内	深野	825	408	417	371	73	364	388	8.8	44.1	47.0	47.0
	横野	403	182	221	202	30	168	205	7.4	41.7	50.9	50.9
	下仁柿	180	89	91	101	6	72	102	3.3	40.0	56.7	56.7
	上仁柿	193	101	92	100	5	79	109	2.6	40.9	56.5	56.5
	有間野	295	126	169	165	24	137	134	8.1	46.4	45.4	45.4
	向粥見	399	196	203	220	22	196	181	5.5	49.1	45.4	45.4
	粥見	1,691	798	893	758	158	802	731	9.3	47.4	43.2	43.2
	計	3,986	1,900	2,086	1,917	318	1,818	1,850	8.0	45.6	46.4	46.4
飯高管内	宮前	1,289	620	669	634	111	581	597	8.6	45.1	46.3	46.3
	川俣	783	377	406	461	20	270	493	2.6	34.5	63.0	63.0
	森	445	221	224	253	24	168	253	5.4	37.8	56.9	56.9
	波瀬	375	171	204	236	10	94	271	2.7	25.1	72.3	72.3
	計	2,892	1,389	1,503	1,584	165	1,113	1,614	5.7	38.5	55.8	55.8
松阪市		154,802	74,532	80,270	75,143	17,083	89,222	48,497	11.0	57.6	31.3	31.3